

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

230号 2023年2月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

オンライン家庭教師の one by ONE の活動

入院中の子どもたちの学習サポートと楽しい時間を作りたい

横浜市立大学学生ボランティア団体 one by ONE 光山 瑞穂

私たちは横浜市立大学学生ボランティア団体 one by ONE と申します。本団体は 2018 年 12 月、私たち 6 年生が 2 年生の時に発足しました。神奈川県立こども医療センターでは 2021 年の 7 月より活動させていただき、現在は加えてあいち小児保健医療総合センター、横浜市立大学附属病院、済生会横浜市東部病院などでオンライン家庭教師やイベント企画などの活動を行わせていただいております。オンライン家庭教師では、入院中の子どもたちの学習を少しでもサポートできるように、またコミュニケーションを通して楽しい時間を作れるようにとの思いで、Zoom を用いて原則週 1 回・1 時間、子どもさんの希望に合わせて勉強のお手伝いをしております。また神奈川県立こども医療センターでは、院内学級の夏休み期間に、自主学習のお手伝いとして夏期講習も開催させていただきました。担当させていただいた子どもさんからは「先生の分かりやすい説明で勉強頑張ろうと思いました」というお声や、授業のサポートをしてくださる保育士の方からは「子どもさん、毎週授業楽しみにしてますよ」というお声をいただいております。また授業をしてくれる学生側も「子どもさんが積極的に授業に取り組んでくれて私も楽しかった」と、教える側もやりがいを感じながら楽しく授業をしています。



活動にあたってはボランティアコーディネーターの加藤様ならびに保育士の方々、看護師や医師の方々の多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。私たち 6 年生は卒業を迎えますが、来年度以降は新 3 年生を中心とする後輩たちが活動をより充実したものにするべく邁進してまいりますので、今後とも何卒ご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。



one by ONE を利用して感じたこと

綱島 里

私は中学3年の秋に入院しました。これから受験を控えている時の入院は学習面での不安がとても大きかったです。病院の中にある養護学校に転校するという選択肢もありましたが、地元の学校のオンライン授業を受けていました。しかし、手術や治療もあり、毎日授業を受けることが不可能で、授業にはどんどんおいていかれました。そんな時、one by One というボランティア活動を知りました。Zoom で初めてお話ししたとき、笑顔で優しく話しかけてくださいました。ノートを使って丁寧に教えてくださるので、分かりやすいです。間違ってしまったところは、なぜ間違えたのか、どうすれば解けるのか、ニガテとして残らぬようにしっかりと理解するまで解説してくださいます。授業中も体調に気を配ってくださるので、無理なくやれています。ボランティアとして活動して下さってとてもありがたいです。これからも私のような立場の子どもたちに one by ONE の活動が広まり、良さが伝わってほしいです。

one by ONE の皆さんとこどもたちの「オンライン座談会」 つばさの木 生活支援課 帯金

昨年の夏休み期間のボランティアでは年齢が近いこともあり和やかな雰囲気、一人ひとりに合わせた懇切丁寧な学習指導を行っていただきました。最終日には座談会を設けていただきその中で「どうしてお医者さんになろうと思ったのか」などこどもたちから疑問が上がりそれらにも丁寧に返答をしていただきました。実体験からのお話では、進路を考えるまた入所生活を送る今の自分自身と重ね合わせて真剣に聞き入る姿が見られました。大変貴重な機会を設けていただきありがとうございました。こどもたちに代わりお礼申し上げます。

こどもたちにとっては院外のような人に関わる体験ができる時間

クリーン病棟保育士 植木

学習ボランティアさんによる授業を受けた子どもやご家族から「わかりやすかった」「おしゃべりができてたのしかったよ」という声や「学習面で遅れが出ていることを心配していたけれどサポートしてくれる方々がいるのは有難いです。」という声が聞かれています。また、学習面だけでなく、入院中は閉鎖的な空間になりがちのため、こどもたちにとっては院外のような人に関わる体験ができる時間、大切な気分転換の時間にもなっています。様々な方面から子どもたちを応援して下さる方々に私達スタッフも心強く思っています。これからも宜しくお願いします。

ウクライナの子どもたちへの支援 第2弾

～オレンジクラブでチャリティーブローチを作り募金活動～

昨年 12 月末、オレンジクラブでチャリティーブローチを作り募金活動～第 2 弾として、ポーランド在住で、ウクライナから避難する子どもたちを受け入れているポーランドの日本語学校教頭の坂本龍太郎氏に 18 万円寄付いたしました。坂本氏はウクライナ難民の支援を続けています。

坂本龍太郎（ワルシャワ日本語学校 教頭）

お返事遅くなってしまう申し訳ございません。

12 月 28 日の入金、確認できております。

ありがとうございます。12 月から 1 月中旬にかけてはリヴィウ市内全ての小学校、計 127 校にポータブル発電機を搬入する作業を行ってありました。いただいた浄財は発電機 4 台分です。

お陰様で現在では全ての小学校に発電機が入り活躍しております。心より御礼申し上げます。



チャリティーミニバザー開催「熱い思いをつなげて・・・」

手作りグループメンバー 松崎 睦

2 月 8 日日本館から管理棟への連絡通路にて、オレンジクラブ「チャリティーミニバザー」を開催しました。ご賛同ありがとうございました。

手作りグループでは、提供いただいた生地等を使ってバザーの為に袋物、エプロン等を作成していました。バザーが中止となり活動が停滞しました。そんな時、会費を払ってボランティア活動していた事や、活動費を自ら得て盛り上げようとバザーを開催した大先輩の存在を知りました。そのような方々の熱い思いをつなげようと、患者図書室のマルシェやバザー委員会の協力を得て、小規模なミニバザーを開催しました。

当日は患者さん、職員の皆さん、ボランティアメンバーとふれあい、豊かな時間を過ごせました。今後も持続可能な活動を考えていきたいと思います。

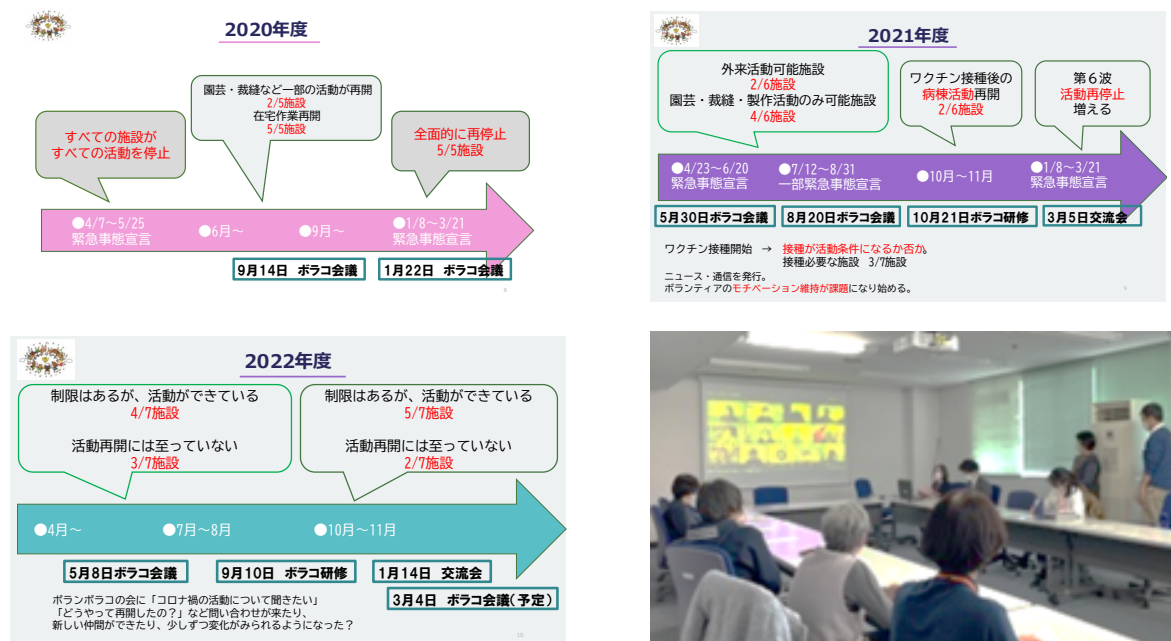
売上に加え募金をたくさんいただき、49,400 円オレンジクラブの活動費として季節飾りやおりがみの費用に使わせていただきます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



ボランティア調整会議（オンラインと対面での開催・写真右下）

2 月 6 日 各グループの情報交換と共に、今回は埼玉県立小児医療センターボランティアコーディネーターの富澤様に「こども病院ボランボラコの活動報告をしてもらいました。富澤氏は会

の副代表で、この会にはオレンジクラブも入会しています。3年間にわたるコロナ禍での他施設の状況と埼玉県立小児医療センターのボランティア活動状況も教えていただきました。



ぽぽんた通信 (57)

今日は、最強の寒波で日本中各地が零度になるという冷え込みだそう。

ぽぽんたは、毎月のオンラインミーティングを1月だけ対面ミーティングになった。会場は戸塚区役所内の会議室を借りた。画面越しとは言え、毎月会っているので、久しぶりという感じはないが、やっぱり対面は嬉しい。2人の新人さん達とは初対面で「まあ～背が高いのね」とか対面での新発見があって又また嬉しい。キクちゃんは、午後からオンラインおはなし会が控えていたので急いで帰宅したが、他の人たちはもっともっとお喋りできたらうな。

本の貸し出しは回を増すごとに貸し出しメンバーが増えてきて、これもまた嬉しい。1月25日は8人のメンバーで貸し出しが出来た。各病棟への貸し出し冊数も増え、選書、貸し出し手続きの時間はその分掛かるがこれもまた嬉しい作業だ。つばさの木は1ケース増えて3ケースになり120冊の貸し出しになった。読書ノートを見ると、かなり多数の子たちや、本好きの子が沢山読んでるのが分かる。来月から貸し出し病棟が一つ増えるので、クリアケースを2個購入してもらうことになった。

お知らせ) 3月7日火曜日ボランティア運営会議を開催いたします。

総長や看護局長など病院関係者とボランティアとの話し合いがなされます。

